

## 2017年度事業報告書

2017年04月03日から2018年03月31日まで

特定非営利活動法人中間市地域活性化協議会

### 1 事業の成果

年間を通して事業展開する中で、もっとも強く感じたのは、「地域共創」のムーブメントが、確かに起こっているということ。「志を共にする“なかま”と、愛すべきふるさと“中間”の未来を共に創造する」という強いボトムアップの力を感じることができました。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
地域参加 型の交流 イベント 事業	I♡なかま遠賀川フェスを開 催した(別紙参照2)	3月18日	中間市	15人	イベント参 加者延べ 15,000人	3660
起業家の 育成に関 する総合 支援事業	講演会を行った(別紙参照 4)	3月13日	中間市	3人	3名	0
地域特産 物の企 画、提案、 製造、販 売事業	さまざまな新名物に取り組 みました(別紙参照4)	通年	中間市	4人	一般市民多 数	0
青少年育 成に関す る事業	流イキッズ交流会を開催し ました(別紙参照1)	7月28日 7月29日 7月30日	遠賀川 流域	30人	51名	1256


(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費 の金額 (千円)
その他、 本法人の 目的達成 に必要な 事業	てくてく♪なかまるしえ開催（別紙 参照6）	11月11日	中間市	30名	10000

## 1. はじめに—平成29年度を振り返って

### 「地方創生」から「地域共創」の時代へのシフト—

◎平成29年度の中間市地方創生シティプロモーション事業を担当させていただき、誠にありがとうございました。年間を通して事業展開する中で、もっとも強く感じたのは、「地域共創」のムーブメントが、確かに起こっているということ。「志を共にする“なかま”と、愛すべきふるさと“中間”の未来を共に創造する」という強いボトムアップの力を感ずることができました。

◎ここに、平成29年度の事業報告を記すとともに、最初に掲げた事業の機軸となるコンセプト（スローガン）をふたたび掲げ、次年度に向けての継続する力にしていきたいと考えます。

◎特に課題として感じていた「人々が集うイベントやまつりが少ないのではないか？人々の楽しみは充実しているだろうか？」という問いに対し、平成29年11月には、全国フットパスの集いの歓迎イベントとして新しく「てくてく♪なかもるしえ」を開催しました。次年度にむけても新たなにぎわいを確立すべく、尽力していきたいと考えます。

### 【中間市地方創生シティプロモーション事業コンセプト】



◎たくさんの「なかまたち」が「なかもる」に集まり、日々の暮らしを楽しめるように—文化とスポーツ精神にのっとりさまざまなイベントを展開してきた平成29年度。単年度で終わるのではなく、これからも継続してこの事業コンセプトを展開し、未来の文化創生、にぎわいの創生に挑んでいきたいと考えます。

## 2. 平成29年度の具体的な事業報告

### 【目的】

◎遠賀川上流域と下流域の子どもたち＝「流域＋キッズ＝流イキッズ」に、ふるさとのシンボルである遠賀川の役割や環境問題、歴史や文化を学んでもらうことで、遠賀川とふるさとへの愛着を醸成することを目的とし実施しました。

### 【実施概要】

■日時：平成29（2017）年7月28日（金）・29日（土）・30日（日）（2泊3日）

■参加者：遠賀川流域の中間市・遠賀4町・嘉穂・飯塚・筑豊地区の小学4年生～6年生  
51名（上流域32名・下流域19名）

■スタッフ：NPO法人メンバー18名・一般ボランティア3名・学生ボランティア9名・看護師1名

■外部協力者および団体等：

◎福岡県広域地域振興課・国交省遠賀川河川事務所・源流の森づくり推進会議（会長・森裕治氏）・NPO法人遠賀川流域住民の会（会長・松岡朝生氏）・中間市食生活改推進会緑の会（代表・中島美和子氏）・遠賀川河川事務所河口堰管理支所（所長・甲斐氏）・北九州市上下水道局水質試験所（加地祐毅氏）・国交省遠賀川河川環境保全モニター（淵上信好氏）・福岡新水巻病院（安部あかね氏）

### 【実施組織】

- |         |  |
|---------|--|
| ■理事長    | 富田 誠二（児童統括・コーディネーター）   |
| ■実行委員長  | 西條 努（1班リーダー/実行委員長）   |
| ■実行副委員長 | 神代 龍太（4班リーダー）  |
| ■実行委員   | 柴住 敦史（2班リーダー）・林 樹一（3班リーダー）・<br>藤川 和博（5班リーダー）・北地 紀章（6班リーダー）・<br>中本 彰（設営統括・会計）・井川 真吾（設営）・森田 圭一（設営）<br>西谷 真紀子（設営）・松元 智恵（設営）・平木 孝二（設営）<br>朝稲 秀仁（設営）・山下 隆（設営）・藤本 倫康（先発・警備）・<br>細川 忠広（先発・警備） |
| ■監事     | 能間 靖博（先発・警備）   |
| ■救護     | 安部 あかね（看護師）  |

## 【具体的な実施内容】

### (1日目) 7/28 (金) 「遠賀川源流に、あつまる！」

①飯塚防災センターにて、国交省遠賀川河川事務所職員とNPO法人遠賀川流域住民の会・松岡会長より、遠賀川の歴史や役割についてレクチャーを受ける。

②遠賀川源流点および周辺の山林見学。馬見山登山道付近で、源流の森づくり推進会議・森会長による説明と引率をもらい、山の環境保護や課題、植樹の大切さを学ぶ。また源流付近の川に入り、美しい水を体感してもらう。

③英彦山青年自然の家にて宿泊。キャンドルサービスなどを行い連帯感や友情を深め、集団生活の思い出を作る。



### (2日目) 7/29 (土) 「遠賀川中流に、あつまる！」

①中間市内の農家のご協力で、遠賀川の水で育った野菜を実際に収穫体験する。食べ物の大切さや水の恵みについて学び、収穫した野菜などを使って昼食を作った。調理の楽しさや協力することの大切さを体験学習。

②遠賀川河川敷の清掃活動。上流の美しい川の水を見学した翌日、下流に行くにつれての汚染状況を目の当たりにすることで、日頃から遠賀川を綺麗にしなければならないことを実感した。

③中間市役所前の河川敷にてキャンプ体験。集団生活や野外での生活体験を通して、助け合いの精神や相手を思いやる心を学ぶ。中間市・福田市長からメッセージをいただく。



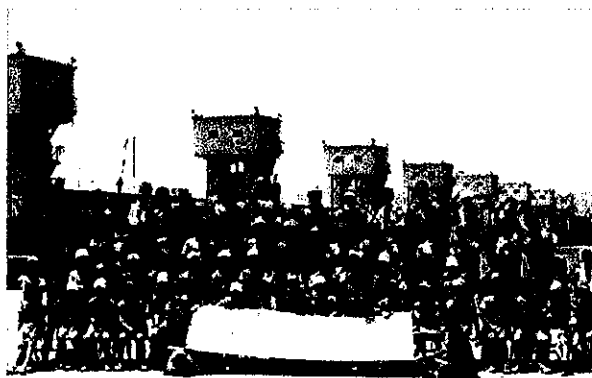
### (3日目) 7/30 (日) 「遠賀川河口に、あつまる！」

①遠賀川河口堰資料館にて、国交省遠賀川河川事務所職員に協力していただき、河口堰の役割とゴミ問題などについてのレクチャーを受ける。

②北九州市上下水道局水質試験所の加地氏に協力していただき、水質の浄化体験を行う。

③国交省遠賀川河川環境保全モニターの淵上氏の協力により遠賀川の生物調査体験を行う。

④中間市中央公民館にて3日間のまとめを行い、未来に残したい遠賀川について、班ごとに話し合った結果を保護者たちの前で発表を行った。



### 【事業実施成果】

◎最終日の子どもたちの発表を通して、生活圏を流れる遠賀川の大切さを実体験を通して知るとともに、ふるさとの環境に配慮する意識の一端を育てることができたのでは、と感じた。

◎現在の河川の汚染状況や漂着ゴミなどの社会課題に直接触れることで、「自分たちにもできることがある」という意識改革の一助になれた。

◎集団生活の規律を体験することで、互いに助け合う心や相手を思いやる心など、青少年の健全な育成の一助になれた。



## 【目的】

◎愛すべきふるさと遠賀川河川敷を、中間のにぎわいステージに—その思いひとつじに、平成28年度（平成29年3月）に立ち上げた、新しい中間のイベント「遠賀川フェス」。この事業を継続していくことを通して、地域の人々を巻き込むとともに、民間団体と行政が協働して温かいにぎわいのある地域を共創していくことをねらい実施しました。遠賀川という地域資源を活かしたイベントを開催することで、市民の郷土愛工場につながることも目的としています。

## 【実施概要】

- 日時：平成30（2018）年3月18日（日） 11:00～17:00
- 会場：中間市役所前河川敷
- 来場実績：中間市を含む福岡県内全域より約15,000名（集客見込み10,000名）
- スタッフ：NPO法人メンバー11名・地域ボランティア4名・川船製作研究会7名・食ブース出店36店舗
- 外部協力者および団体等：  
◎司会（鶴田弥生氏）・ゲスト（大野いと氏・如月りな氏・KANAKO氏・怪盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー・NPO法人北九州物産振興会・川船製作研究会
- 来賓：中間市長・福岡県議会議員

## 【実施組織】

- 実行委員長 神代 龍太（運営総合責任者・ステージ周り関連全般）
- 実行副委員長 西條 努（川ひらた・ボランティア責任者）
- 運営幹事 中本 彰（ドリンク販売責任者）
- 実行委員 藤川 和博（本部テント責任者）  
西谷 真紀子（第2司会）  
井川 真吾（来賓対応責任者）  
富田 誠二（露店責任者・全体副責任者）  
北地 紀章（川ひらた副責任者・広報責任者）  
柳 昌男（ドリンク販売副責任者）  
森田 圭一（設営責任者）  
桑野 道弥（本部副責任者）

### ■他ボランティア4名



## 【具体的な実施内容】

### ①食フェス! 10:30~17:00

■11:00~16:00 食フェス36出店ブースによる美味合戦! 「投票イベント」

■16:35~17:00 食フェス投票結果発表&大抽選会…投票者から抽選で6名に豪華賞品

### ②メインステージ

■11:00~11:15 オープニング (B級グルメ・なかま飯・キッチンカー店舗・川ひらた紹介)

■11:40~12:10 第一回戦隊ショー

■12:30~13:00 如月りなステージイベント

■13:15~13:45 KANAKOステージイベント

■15:05~15:15 福田市長スピーチ

■15:15~15:35 福田市長と女優大野いとスペシャルトーク

■16:00~16:30 第二回戦隊ショー

■16:35~16:45 食フェス結果発表 (優勝団体に賞状とトロフィーの授与)

■16:45~17:00 食フェス投票者プレゼント抽選発表&フィナーレ

### ③川ひらた試乗会!

■11:00~16:00 川船製作研究所による「川ひらた」遊覧船試乗会 (11時・13時・15時)

### ④会場内スタンプラリー

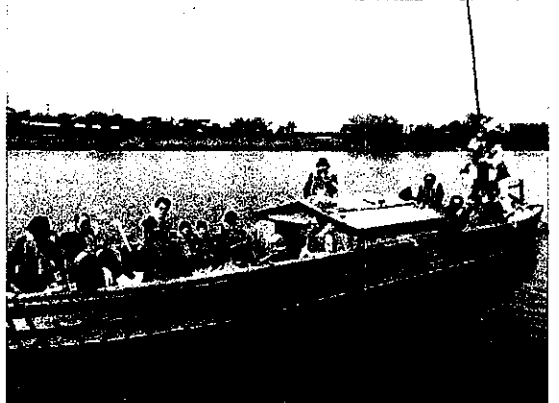
■世界遺産推進室による会場内のスタンプラリー

## 【事業実施成果と課題】

◎2016年度開催 (2017年2月11日) 時の来場者7,000名を超える15,000名の来場者を達成できたことは大きな成果であった。限られた人員での設営や運営であったが、各外部協力者や行政とうまく連携がとれた結果、前回は上回る大成功であった。

◎「川ひらた」の乗船希望者が想定よりも多く長蛇の列ができ、すべての希望者に乗船していただくことができなかった点は残念だった。

◎「川ひらた」の人気ぶりや、食フェスでは「なかま飯」が優勝するなど、中間市と遠賀川に郷土愛を醸成するという目的への達成感を実感した。





## 【目的】

◎中間市「創業支援によるまちの賑わい創出プロジェクト」によって新設された「チャレンジショップ」。当NPO法人ではそのサポートプロジェクトを企画し、このプロジェクトを全面的にバックアップ。新しい起業家たちとの出会いの場を創出していきたいと考えました。

◎チャレンジショップ希望者に対して、経営（商売）の教育の場を設けるなどし、同じふるさとでビジネスを営む者同士の絆と関係性を育んでいくを目的とします。

## 【実施概要】

■日時：平成30（2018）年3月13日（火） 13:30～15:00

■講師：イオン中間店店長 古賀 健司氏

■会場：NPO法人中間市地域活性化協議会事務局

■参加実績：チャレンジショップ出店者3名

■スタッフ：NPO法人メンバー3名・中間市職員2名

## 【実施組織】

■司会/主催 中間市

■設営 富田 誠二・神代 龍太・藤川 和博

## 【具体的な実施内容】

■13:30～ プロジェクトの説明

■13:32～ 講師プロフィール紹介

■13:35～ 古賀健司氏による講演

■14:35～ 質疑応答

■15:00 閉会

## 【事業実施成果と課題】

◎計画時には、会場をなかまハーモニーホールとしていたが、急遽NPO法人の事務局での開催となった。

◎講演内容は、経営者になるための心得や心構えなど多岐にわたり、チャレンジショップ希望者だけでなく、地元の経営経験者にも役立つ内容であった。今後は参加者の対象を拡げ、より多くの方の参加を促進したいと感じた。

◎新しい起業家である参加者の真剣な眼差しが印象的であった。起業家と、総合的な観点（物販・飲食・食品）からアドバイスのできる古賀店長との面識を作れたことにより、同じふるさとでビジネスを営む者同士の関係性を築く一助になったと感じた。

## 【目的】

- ◎郷土愛プロジェクトの一環として誕生した中間の新名物「豚もっちゃん」。豚のモツを味噌で煮込んだ愛すべき家庭料理を、中間市から全国に発信するための商品化とブランド力強化に努めます。またさらなる中間名物育成を目指して、食文化にも継続的にチャレンジしていきます。
- ◎「豚もっちゃん」関連商品以外にも、さまざまな新名物の発掘と創設に取り組みます。

## 【実施概要】

- 日時：平成29（2017）年度～継続中
- おもな拠点：交流センター・幸人カフェ

## 【具体的な実施内容】

### ①新名物「豚もつ串」誕生と販売

- 豚もつとこんにゃくを醤油味噌を中心としただし汁で煮込み、串揚げにしたもの。臭みも無く食べやすいと好評。
- 「幸人カフェ」にて販売

### ②新名物「開運おにぎり」誕生と販売

- 新名所「垣生公園」内の願い石のカタチから発想。開運にちなみ、金箔をそえたおにぎり。「学」「開」「勝」「縁」の文字をパッケージに入れて、願い事にちなんだ商品（文字）を選べるようになっている。
- 「幸人カフェ」にて販売

### ③新名物「オリジナルブレンド塩」誕生と販売

- 中間市の名所にちなんだオリジナルブレンド塩を販売。新しいお土産として好評。
- 遠賀川…菜の花の黄色をイメージした「チーズペッパー塩」
- ポンプ室…建物の煉瓦色と製鉄との関連から鉄分の多い食材をセレクト「明太子塩」
- 垣生公園…桜の名所からイメージした「桜塩」
- 梅安天満宮…梅の名所からイメージした「梅塩」
- 垣生神社…名前の読みからイメージした「ハーブ&ジンジャー塩」
- 「交流センター」にて販売

## 【事業実施成果と課題】

- ◎「豚もっちゃん」のアピールはもちろんのこと、さらなる新名物を発掘していきたいと考える。予算をあまりかけなくとも、ひらめきとアイデアで、まだまだふるさと中間をアピールできる新名物を発掘できる、とよい手応えを感じた一年であった。

## 【目的】

◎近年、安川電機の中間市への誘致が話題になりましたが、さらなる企業誘致を目指した活動を継続するこそが力になる、と考えます。私たちは、「地道にあきらめない!」を合言葉に、中小企業の誘致を最優先に進め、雇用の確立やまちのにぎわいの創出、若年層の取り込みなどを目指し、継続的に取り組んでいきます。

## 【実施概要】

- 日時：平成29（2017）年度～継続中
- おもな拠点：NPO法人中間市地域活性化協議会

## 【事業実施成果と課題】

◎平成29年度は企業誘致の実績に至らなかったが、継続こそが力である。「地道にあきらめない」を合言葉に、数年計画で継続していきたいと熱意は増している。

## 【開催経緯と目的】

◎中間市地方創生シティプロモーション事業の流れから、事業外イベントとして、全国フットパスの集い2017inななかま記念イベント「てくてく♪ななまるしえ」を共催させていただきました。これは、中間市でフットパスの全国大会が開催されるにあたり、全国各地から参加する方々に「元気あるまち・中間市」をPRする絶好の機会であることと、ふるさと中間の遠賀川河川敷を象徴するようなイベントを開催したいとのことで、「花火」を盛り込んだ華やかな事業を目指しました。平成30年に市制60周年の節目を迎える記念すべきイベントにふさわしい、にぎわいの創生を目的としています。

## 【実施概要】

- 日時：平成29（2017）年11月11日（土）14:00～21:00
- 会場：中間市役所前遠賀川河川敷
- 来場実績：中間市を含む福岡県内全域より約30,000名
- スタッフ：NPO法人メンバー30名・地域ボランティア50名・中間市職員25名・警備会社72名
- 外部協力者および団体等：  
◎司会（鶴田弥生氏）・ゲスト（平野ノラ氏・バットナイツ常田氏・ゴージャス氏・VPROコスプレ海賊団氏・イヴピア氏・ふくおか官兵衛ガールズ氏・猿心氏・マジカルしっぽ氏・エタンセル郵相ダンサー2組）
- 主催：中間市
- 来賓：中間市長・福岡県議会議員・中間副市長・中間市市議会議員

## 【実施組織】

- 実行委員長 富田 誠二 (運営総合責任者)
- 実行副委員長 藤川 和博 (副責任者・設営責任者)
- 運営幹事 中本 彰 (副責任者・ステージ・花火責任者)
- 実行委員 西谷 真紀子 (副責任者・食フェス責任者)
- 西條 努 (副責任者・警備責任者)
- 北地 紀章 (副責任者・メディア広報・広告デザイン責任者)
- 神代 龍太 (当日スナップ撮影担当)

## 【具体的な実施内容】

### ①食フェス! 14:00~21:00

■ 10台のキッチンカーとヨーヨーなどお祭り屋台含め約40ブースによる食フェス

### ②メインステージ

- 15:00~15:20 オープニング
- 15:30~16:00 猿心 (猿回し) ショー
- 16:15~16:45 マジカル☆しっぽパフォーマンスショー
- 17:00~17:30 ゴージャスステージショー
- 17:45~18:05 エタンセル優勝者ダンスショー
- 18:15~18:45 VPROコスプレ海賊団ステージショー
- 18:45~19:15 イヴピアライブショー
- 19:15~19:45 ふくおか官兵衛ガールズステージショー
- 20:00~20:30 平野ノラ・バットナイツ常田ライブショー
- 20:30~20:45 福田市長スピーチ
- 20:45~21:00 花火フィナーレ

全国フットバスの無い2017のなかまるしえイベント

# てくてくなかまるしえ

会場：中間市役所 前 河川敷

14:00 START

楽しく遊んで食べて...最後は花火!!

フィナーレは打ち上げ花火 20:45 予定

## いろんな仲間が中国に集まる日 みなさん大集合ですよ!

飲食ブース... (詳細な説明あり)

心を動かす 未来を動かす

全力発信 中国6都府

スケジュール

14:00	14:15	14:30
14:45	15:00	15:15
15:30	15:45	16:00
16:15	16:30	16:45
17:00	17:15	17:30
17:45	18:00	18:15
18:30	18:45	19:00
19:15	19:30	19:45
20:00	20:15	20:30
20:45	21:00	

アクセスマップ

会場には行き場はございません

お問い合わせ先

てくてくなかまるしえ

主催：中間市 共催：NPO法人中国青少年交流協会

お問い合わせ先：NPO法人中国青少年交流協会

〒830-0023 中国市東区一丁目1-10 2F

TEL: 094-243-3477

開催日：9. 30(金) 10. 21(土)

# 活動計算書

自 平成29年4月3日 至 平成30年3月31日

NPO法人中間市地域活性化協議会

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	管理部門	合 計
1. 経常増減の部				
経常収益				
事業収益	319,000	0	0	319,000
事業収益	319,000	0	0	319,000
受取補助金等	10,300,000	0	6,750,000	17,050,000
受取地方公共団体補助金	10,000,000	0	0	10,000,000
受取地方公共団体助成金	0	0	6,750,000	6,750,000
受取民間助成金	300,000	0	0	300,000
受取寄付金	435,000	0	0	435,000
受取寄付金	435,000	0	0	435,000
雑収益	0	355,100	4,907	360,007
受取利息	0	0	37	37
雑収益	0	355,100	4,870	359,970
経常収益計	11,054,000	355,100	6,754,907	18,164,007
経常費用				
事業費	15,034,900	192,069		15,226,969
旅費交通費	503,743	0		503,743
通信運搬費	290,288	0		290,288
運営費	9,691,772	142,069		9,833,841
消耗品費	123,077	0		123,077
会場費	2,507,169	0		2,507,169
印刷製本費	739,104	0		739,104
広告宣伝費	208,980	0		208,980
保険料	411,064	0		411,064
諸謝金	153,080	0		153,080
表彰費	176,883	0		176,883
租税公課	20,800	0		20,800
支払寄付金	0	50,000		50,000
支払手数料	9,936	0		9,936
雑費	199,004	0		199,004
管理費			3,051,053	3,051,053
給料手当			766,800	766,800
福利厚生費			5,554	5,554
通信運搬費			88,991	88,991
減価償却費			3,333	3,333
消耗品費			86,968	86,968
光熱水料費			176,359	176,359
貸借料			1,193,616	1,193,616
保険料			87,047	87,047
租税公課			10,000	10,000
支払寄付金			10,000	10,000
雑費			622,385	622,385
経常費用計	15,034,900	192,069	3,051,053	18,278,022
当期経常増減額	△ 3,980,900	163,031	3,703,854	△ 114,015
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	△ 3,980,900	163,031	3,703,854	△ 114,015
法人税・住民税および事業税	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 3,980,900	163,031	3,703,854	△ 114,015
前期繰越正味財産額				1,963,032
次期繰越正味財産額				1,849,017

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

NPO法人中間市地域活性化協議会

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部		II. 負債の部	
流動資産			
現金預金	1,291,850		
現 金	15,507		
普通預金	1,276,343		
流動資産合計	1,291,850	負債合計	0
固定資産		III. 正味財産の部	
什器備品	96,667	前期繰越正味財産	1,963,032
敷 金	460,500	当期正味財産増減額	1,849,017
固定資産合計	557,167	正味財産合計	3,812,049
資産合計	1,849,017	負債・正味財産合計	3,812,049

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。但し、建物については定額法によります。

### 2. 事業費の内訳

(単位：円)

科 目	読イキッズ交流会	達賀川フェス	てくてくなかもり	合 計
<b>事業費</b>				
旅費交通費	347,943	0	155,800	503,743
通信運搬費	4,980	272,280	13,028	290,288
運 営 費	596,878	1,963,468	7,131,426	9,691,772
消耗品費	0	72,720	50,357	123,077
会 場 費	146,820	657,920	1,702,429	2,507,169
印刷製本費	164,740	321,404	252,960	739,104
広告宣伝費	0	0	208,980	208,980
保 険 料	32,694	106,680	271,690	411,064
諸 謝 金	70,550	40,000	42,530	153,080
表 彰 費	56,344	120,539	0	176,883
租税公課	0	0	20,800	20,800
支払手数料	3,672	6,264	0	9,936
雑 費	0	49,004	150,000	199,004
<b>事業費計</b>	<b>1,424,621</b>	<b>3,610,279</b>	<b>10,000,000</b>	<b>15,034,900</b>

### 3. 使途等が制約された寄付金

使途等が制約された寄付金はありません。

### 4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
<b>有形固定資産</b>						
什器備品	0	100,000	0	100,000	△ 3,333	96,667
<b>無形固定資産</b>						
敷金	460,500	0	0	460,500	0	460,500
<b>合計</b>	<b>460,500</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>	<b>560,500</b>	<b>△ 3,333</b>	<b>557,167</b>

# 財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	法人事務所内		15,507
普通預金	西日本シティ銀行 中間支店	公益目的事業資金・運転資金として	1,001,616
	西日本シティ銀行 中間支店	公益目的事業資金として	274,727
流動資産合計			1,291,850
(固定資産)			
什器備品	プロジェクター	事業に関するプレゼン等に使用	96,667
敷金	(株)ハウス倶楽部	事務所賃借に係る敷金	460,500
固定資産合計			557,167
資 産 合 計			1,849,017
(流動負債)			
流動負債合計			0
(固定負債)			
固定負債合計			0
負 債 合 計			0
正 味 財 産			1,849,017